

会 議 録

作成：吉川市教育委員会教育部
教育総務課学校給食センター

会 議 の 名 称	令和元年度吉川市立学校給食センター運営委員会	
開 催 日 時	令和元年7月24日(水)	19時00分から20時20分まで
開 催 場 所	吉川市学校給食センター多目的会議室	
出席委員氏名	(学 校 長) 三輪野江小学校長 城崎克恵 東中学校長 前田稔 (P T A会長) 三輪野江小学校P T A会長 岡田早代子 美南小学校P T A会長 滝吉大助 南中学校P T A会長 石井千夏 (市議会議員) 文教福祉常任委員 濱田美弥 (学識経験者) 学校医 秋本憲一 流通経済大学准教授 坂野喜隆	
欠席委員氏名		
事務局・担当課 職 員 氏 名	教育部長 中村詠子、教育総務課長 染谷憲市、 給食センター 所長 森保美、栄養士 山菅総子、主事 蔭山彩佳	
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱書交付 3 あいさつ 中村部長 4 委員紹介・職員紹介 5 会長、副会長選出 6 議 題 (1) 平成30年度学校給食実施報告 (2) 令和元年度学校給食計画 (3) 吉川市学校給食食物アレルギー対応指針の一部改正について (4) 給食食材放射性物質の分析結果等及び今後の対応について (5) その他 7 閉会	
会 議 の 公 開 又は非公開の別 ■公開 □非公開		
会議資料の名称	・令和元年度吉川市立学校給食センター運営委員会名簿 ・平成30年度学校給食実施報告 ・食物アレルギー対応食の実施状況 ・平成30年度学校給食アンケート集計結果 ・学校給食センター施設見学・試食会の受入状況 ・令和元年度学校給食計画 ・吉川市学校給食食物アレルギー対応指針の一部改正について ・給食食材放射性物質の分析結果等及び今後の対応について	資料1 資料2 資料3 資料4 資料5 資料6 資料7
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	

会議録署名委員	岡田早代子、石井千夏
その他の事項	
議 事	
染 谷 課 長	<p>ただ今より、令和元年度吉川市立学校給食センター運営委員会を開会させていただきます。本運営委員会は吉川市情報公開条例第26条の規定により「公開」としております。また、会議録は録音機を使用した要点記録とし発言者は記名とするのでご了承ください。</p> <p>(委嘱書交付)</p> <p>任期は、本日から令和2年3月31日までとなっています。</p> <p>(教育部長あいさつ)</p> <p>(委員紹介・職員紹介)</p> <p>会長・副会長の選出は規則第5条により委員の互選となります。</p> <p>特にご意見がないようでしたら、事務局案があります。例年、会長を学校長代表の委員から、副会長をPTA会長代表の委員から選出してしております。したがって、会長を中学校長代表の前田委員に、副会長につきましては、小学校PTA会長の中から美南小学校PTA会長の滝吉委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(委員一同了承)</p> <p>会長、副会長が決まりましたので席の移動をお願いします。議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>早速ですが議題に移ります。規則第5条第2項に基づき、議事進行を前田会長にお願いします。</p>
前 田 会 長	<p>ご指名をいただき、会長を引き受けることとなりました、東中学校の前田です。委員のみなさまのご協力をお願いいたします。</p> <p>これより議事を進行します。まず、定数を確認します。「吉川市立学校給食センター運営委員会」規則第7条第3項により、「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」となっております。当運営委員会の定数は8人で、全員出席のため会議が成立していることを報告します。</p> <p>次に「学校給食センター運営委員会規則」第9条第3項で会議録署名委員2名を会長が指名することになっておりますので、私のほうで指名させていただきます。名簿順で岡田委員、石井委員をお願いいたします。</p> <p>では、議題に入ります。今回、教育委員会から提出された諮問事項はありません。議題1の「平成30年度学校給食実施報告」について事務局より説明をお願いします。</p>
山 菅 栄 養 士 蔭 山 主 事	(資料について説明)

前 田 会 長	ただいま、事務局から議題1について説明がございましたが、ご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。
濱 田 委 員	資料3の4ページの「あまりよくない」「悪い」についての意見が少なくてよかったと思いますが、5年生の一番上の意見の「僕は小食です。減らすとダメになる可能性」とありますが、ダメになる可能性とは何を意味しているのでしょうか。
山 菅 栄 養 士	「あまりに減らすとダメになる可能性が怖くて、あんまり減らせずに多量のままになることがある。というより、ほぼ毎日です」というご意見ですが、ご記入をいただいた生徒に直接確認をしているわけではありませんが、おそらく、クラス全体で残菜をゼロにしようという取り組みをされていて、自分が残してしまうことで、その取り組みをダメにしてしまうのが怖くて、減らせずに多量のまま頑張って食べています、という意味合いだと認識しております。
前 田 会 長	その他ございますでしょうか。
秋 本 委 員	資料2の提供回数の数字は何を意味しているのでしょうか。例えば、4月は卵が2とありますが、これはどういう数字でしょうか。
山 菅 栄 養 士	提供回数の表は、その月に対応食を提供した回数を示しております。4月の欄を見ていただきますと、小学校では4月の1ヶ月間で卵除去食を2回、卵乳除去食を2回、7大アレルゲンを使用していない献立を5回提供したことを示しています。また、今現在対応している児童生徒がいない小学校の乳除去食、中学校の乳、卵乳除去食は横線が引いてあります。なお、4月から3月までの1年間で小学校の卵除去食は39回、卵乳除去食は57回、7大アレルゲンを使用していない献立は33回、中学校の卵除去食は37回、7大アレルゲンを使用していない献立は28回提供しました。
秋 本 委 員	対応食の提供は、児童生徒全員に提供されたのでしょうか。それとも申請があった方に対して提供されたのでしょうか。
山 菅 栄 養 士	申請があった方に対して提供しております。
秋 本 委 員	資料2の対象者内訳に小学校の卵除去食は10名とあるため、提供回数の数字と合っていないように思いますが、いかがでしょうか。
山 菅 栄 養 士	小学校の卵除去食は、10名の方に統一の除去食を提供しております。4月は10名の方に2日間提供しているため、調理数は10名の方に2日間で20食になりますが、提供回数の数字は、10名の方に統一で提供した実施回数を

秋 本 委 員	<p>示しております。</p> <p>4月は卵除去食が2日間だけ提供され、除去食が提供されていない日はお弁当の持参や、通常の給食から各自卵を抜くなど対応されているということですね。</p>
山 菅 栄 養 士	<p>除去食が提供されていない日には、通常の給食に卵が使われていないこともあります。</p>
秋 本 委 員	<p>4月は2日間卵除去食が提供されていますが、もっと回数を増やすことは難しいのでしょうか。</p>
山 菅 栄 養 士	<p>通常の献立に卵が使われていない場合は、卵除去食の提供を行う必要がありません。また、4月は年度当初で担任の先生が個人の把握が難しいということを考慮いたしまして7大アレルゲンを使用していない献立を多く提供できるよう工夫し、対応食の実施回数を減らせるよう努力しております。</p>
坂 野 委 員	<p>3つあります。1つ目は、資料3のアンケートは毎年行われていますか。また、何年続けて行われていますか。2つ目は、経年比較をして出されている結果はありますかでしょうか。3つ目は、量についてのコメントに「少なくしてほしい」「多くしてほしい」という意見がありますが、調査項目を限定し、「少ない」「多い」に丸を付けてもらうような回答方法にすることで、回答率が上がると思います。また、「少ない」「多い」を明確な表にすることができますので、このような調査項目の精査も必要ではないかと思いました。</p>
前 田 会 長	<p>坂野委員より2つの質問と1つのご意見をいただきました。アンケートの実施頻度と経年比較を行っているか、調査項目を整理することで得られる回答も変わってくるのではないかとのご意見でした。2つの質問について事務局よりお答えをお願いします。</p>
山 菅 栄 養 士	<p>1つ目のアンケートの実施頻度につきまして、毎年1回調査を実施しております。何年間継続して調査を実施しているかすぐにお答えすることができませんが、少なくとも7年以上継続していることは把握しております。2つ目の経年比較についてですが、アンケート結果は献立を考える際に使用しております。昨年度と現年度でどのくらい変化があったかなどはCS-MBOの中で経過を観察しております。3つ目の調査法について、ご意見ありがとうございます。小学2年生は質問に対して答えるということが難しく、こちらでも方法を検討しているところでしたので、今回いただいたご意見を来年度の調査に活かしていきたいと思っております。</p>

滝吉副会長	資料3の意見、感想に「揚げパン、コーヒー牛乳をもっと増やしてほしい」「デザートを増やしてください」という意見がありますが、反映されるのでしょうか。
山菅栄養士	意見の中には「お寿司を出してください」「ステーキを出してください」というご意見もあり、ご意見に沿えないものもありますが、デザートの種類や好きなメニューについてはなるべく反映させていただきたいと思っております。13ページの「コロコロきゅうりがおいしいです」「コロコロきゅうりをいっぱい出してください」「コロコロきゅうりが食べたいです」とありますように、コロコロきゅうりは人気がありまして、毎年いただくご意見です。このような人気のメニューは月に1回は取り入れられるよう献立作成の際は工夫しております。
濱田委員	2つ質問があります。資料3について、私が子どものときよりもパンの提供回数が減っているように思いますが、子どもたちからは「パンが好きです」という意見もありますので、パンの提供回数を増やすことはできないのでしょうか。次に、「よく残す」と回答した理由として小学2年生は「量が多い」「好き嫌いがある」、5年生は「量が多いけど減らして残さず頑張っている」、中学2年生は「時間がない」という意見が出ています。小学2年生の意見から最近の小学2年生は小食になってきているのか気になります。また、中学2年生の「時間が短い」という意見と、私の子どもからも中学校に入ってから給食時間が短くなったという話を聞いているので、実際にどのくらいの給食時間が確保されているのか現場の先生にお伺いしたいと思います。
前田会長	パンの回数、小学2年生の摂取状況、中学校の給食時間について事務局よりお答えをお願いします。
山菅栄養士	パンの提供回数についてですが、埼玉県での米の消費を拡大しようという取り組みから、なるべくご飯を食べる回数が増えるように現在は2週間に1回の頻度で提供しております。また、学校の先生との会議の場で、パンはご飯よりも嵩があるため、食べるのに時間がかかるという意見もいただいておりますため、今後十分に食べる時間が確保できましたら、パンの提供回数を増やすことも検討していきたいと思っております。次に、小学2年生の摂取状況についてですが、小学1、2年生の低学年は、みんなと一緒に時間を決めて食べるということに慣れていない児童生徒が多々いるようにお見受けしております。高学年になりますと慣れで食べられるようになってきますので、低学年の児童生徒には摂取してもらいたい量を提供し慣れていってもらいたいと考えております。

前 田 会 長	<p>給食時間については私がお答えします。その日の献立によって、配膳に時間がかかるものとそうでないものがありますので、一概に必ずこの時間を確保していますとは言えませんが、給食終了の時間を決め、15～20分間は確保できるように努めています。学校によって違いがあるかと思いますが、早く食べ終わりおかわりをしている生徒もいるように思います。</p> <p>それでは、議題2「令和元年度学校給食計画」について、事務局よりご説明をお願いします。</p>
蔭 山 主 事	(資料について説明)
濱 田 委 員	<p>資料5の3ページ、11月の「和食の日」献立は以前にも同じようなメニューが提供されていたかお伺いしたいです。また、なまずのカレーにねぎが入っていて少し食べにくかった、という意見を聞いていましたので、そのようなメニューが提供されていたのかということと、子どもたちから感想などがありましたら教えていただきたいです。</p>
蔭 山 主 事	<p>11月の「和食の日」献立は、昨年度初めて提供されました。この日の献立は、小学校と中学校で主菜、副菜は異なりますが「なまずのカレー風味うどん」は昨年度の学校給食調理コンクールで賞をいただいたメニューです。</p>
山 菅 栄 養 士	<p>「なまずのカレー風味うどん」は吉川市産のねぎなどたくさんの野菜を使用しておりました。今回食べにくかったというご意見をいただきましたので、切り方や調理方法等を検討していきたいと思えます。また、4月から7月までは実施済みの献立と説明がありましたが、9月からの献立内容につきましては、資料作成時に今年度の献立が確定しておりませんでしたので、昨年度の献立内容を参考に記載させていただいております。そのため、11月の「和食の日」献立は昨年度の11月に提供された内容でございます。今年度の11月の「和食の日」献立は、再び検討いたしますので記載内容とは異なりますがご了承ください。</p>
前 田 会 長	<p>議題3「吉川市学校給食食物アレルギー対応指針の一部改正について」事務局より説明をお願いします。</p>
山 菅 栄 養 士	(資料について説明)
前 田 会 長	<p>開始時期を9月から6月に前倒しすること、昨年度の流れにいくつか追加を行いより詳しく、またより安全性を高める、というご提案だったと思います。</p>

	ただいま事務局より議題3についてご説明がございましたが、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。
秋本委員	委員はアレルギー対応指針を拝見したことがないと思いますので、この場で決議を求めるのであれば、指針も配布していただければと思います。
山菅栄養士	資料不足で大変申し訳ございませんでした。改定する前の指針と改定箇所を示しました指針がございましたので、ご覧ください。
前田会長	議題4「給食食材放射性物質の分析結果等及び今後の対応について」事務局より説明をお願いします。
森所長	(資料について説明)
前田会長	ただいま事務局より議題4について説明がございましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。
濱田委員	資料6について、併せてお伺いさせていただきます。アレルギー対応食の提供開始時期を9月から6月に前倒すことにより、提供していただく側はうれしいですが、職員の負担にはなっていないのでしょうか。資料7については、下処理が済んだ食材を混合して、ということ詳しく教えていただきたいです。また、基準値とはどういう数値のことをいうのでしょうか。
前田会長	まず、資料6の職員の負担について事務局よりお答えをお願いします。
森所長	平成28年度に新しい給食センターが始まりまして、今年4年目を迎えました。その中でアレルギー対応食の提供についても比較的作業の流れがつかめてきたという点で、今回前倒すことになったという経緯もございますので、大きな負担にはなっていないと考えております。資料6については以上です。
前田会長	資料7の実施内容②についてと、基準値についてご質問を受けております。よろしくをお願いします。
森所長	下処理とは、例えばじゃが芋ですと皮をむき、加熱前の状態にするところまでを指します。ミキサーにかけるものは、一食分の食材ですので、使用する食材をミキサーにかけ混合します。基準値は100ベクレルとしております。
中村部長	給食センターで使用しています検査機器は10ベクレルくらいまで測れるようになっておりますので、10ベクレル以上ですと測定できますが、以下で

	<p>すと測定できません。今まで数値が出たことはございませんが、仮に数値が出た場合は、さらに詳しい検査機関に持ち込み検査することとなっております。</p>
濱 田 委 員	<p>混ぜる食材には、牛乳やご飯は含まれているのでしょうか。</p>
森 所 長	<p>牛乳は検査しておりますが、ご飯は行っておりません。ご飯は、納入業者である埼玉県学校給食会で日々ではありませんが検査されています。</p>
中 村 部 長	<p>資料6につきましては、諮問ということではなくこのように変更させていただきます、という報告ですので、特にご意見が無いようでしたらこのように進めさせていただきます。</p>
森 所 長	<p>資料7についてですが、吉川市では小中学校、保育園の給食食材を毎日検査しておりますが、近隣の市町村では、年に数回や、自校式や献立の多いところは1カ月に1回、1週間に1回の頻度で検査が行われていますので、委員の皆様からご意見をいただきましたら、今後の参考にさせていただきたいと思いません。</p>
前 田 会 長	<p>事務局から委員の皆様のご意見をいただきたいという依頼がありましたが、皆様はいかがでしょう。</p>
濱 田 委 員	<p>今後は検査件数を減らしたい、もしくは終わりにしたいということでしょうか。</p>
森 所 長	<p>具体的なことは決まっておりますが、ご意見があれば参考にさせていただきたいと思っております。</p>
中 村 部 長	<p>放射能検査は、臨時職員を雇用し年間300万円近くかけて行われております。他市町村に比べて吉川市では手厚く毎日検査を行っていますが、24年度から検査を実施してきまして一度も数値が出たことはなく、また流通している食材は出荷元で検査が行われていますので、汚染されているものは無いと考えてよいと思いません。毎日検査を行って費用対効果があるのか内部で話が出ておりました、皆様のご意見を参考にさせていただけたらと思いません。</p>
濱 田 委 員	<p>吉川市の特性として地元の野菜を使用したい、加えて東日本大震災の際は吉川市内の一部地域では特定の地域に指定されていることも考えますと、保護者の中には心配されている方もいらっしゃると思いませんので、検査を全く行わないということは心配に思いません。また、保護者の方々からの意見も聞いた方がよいと思いません。</p>

前 田 会 長	ここの場で統一した意見を求めているわけではありませんので、各自でお持ちのご意見をお聞かせください。
滝 吉 委 員	検査回数は減らしてもよいのではないかと思います。職場で月に1回現場に行き放射能検査を行っていますが、数値が出たことはありませんので、段階的に月1回、年1回と減らしていてもよいのではないかと思います。
岡 田 委 員	検査回数を減らしていてもいいかなと思います。検査をしていただいていると同時に、まだ放射能を気にしなければならないのかなという怖さや心配があります。全く検査をしなくてもいいのではないとも言えませんが、検査を始めた24年度から一度も数値が出ていないというお話を聞いて安心しました。お母さん方は、本当は数値が出ているのではないかなど考えてしまいますので、どこかで数値は出ていないということを報告していただければ安心するのではないかと思います。
染 谷 課 長	29年度までは毎日検査結果をホームページに掲載しておりましたが、30年度からは1週間の測定結果を翌週の月曜日に掲載させていただいております。測定結果を見ている方は、数名だと思います。
岡 田 委 員	放射能検査を行っているということだけは知っていましたので、周りにも周知していきたいと思います。
森 所 長	国が想定している野生のきのこや鹿、猪、熊などリスクの高い商品は、福島県周辺で数値が出ておりますが出荷制限がされており、また学校給食では使用されない食材です。
坂 野 委 員	岡田委員より、検査を行っていることによりかえって心配をあおる可能性があるという話を聞いて、早くやめた方がいいのではないかと思います。
城 崎 委 員	色々な資料ありがとうございました。特に栄養士を中心に給食センターの方々が子どもたちのために献立を考え、安心、安全に給食を作ってくださいなことをありがたく思います。なかなか家庭では食べることのできない郷土料理や、各国の料理を取り入れていただき、来年はオリンピックもありますのでそこでも子どもたちはワクワクして食べられるのではないかなと思います。また、放射能につきまして前任の春日部市は、検査回数を減らしていたような気がします。先ほどもお話がありましたが、学校に納品される食材はその前に検査されており、危ないものは出てこないと思います。近隣市町村の状況を聞いて決められるのはいかがでしょうか。
前 田 会 長	簡単でよろしいので近隣市町村の状況をお聞かせいただけますでしょうか。

森 所 長	越谷市では、給食センターが3箇所ありまして1日1箇所、また全部の食材ではなく品目を決めて検査を行っております。三郷市も給食センターが3箇所ありまして、順番に検査を行っております。松伏町は、年間28回程度行っておりますので、給食の時期を11カ月と換算しますと月に2、3品目の検査が行われています。春日部市は、今年から年に14回と聞いており、11カ月で割りますと月1回程度と思われます。
前 田 会 長	ここで出された意見などを参考に、検査回数について検討するということですので、こちらの意見として事務局にお預けしたいと思います。
染 谷 課 長	前田会長ありがとうございました。以上で予定されている議題については全て終了いたしました。なお、本日の議事録につきましては、著名委員に確認後、皆様に送付させていただきます。これをもちまして令和元年度吉川市立学校給食センター運営委員会を閉会いたします。

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 元年10月25日

会 長 前田 稔

署名委員 岡田 早代子

署名委員 石井 千夏